

1 岩手県教育振興計画（2024～2028）

1 策定の趣旨

岩手県教育委員会では、本県の教育振興の取組の指針となる「岩手県教育振興計画」を策定し、教育関係者だけではなく、家庭や地域、企業、NPOなどの様々な主体と連携し、目標の実現に向けて、一体となって取り組んで参りました。

今般、「岩手県教育振興計画」の計画期間が令和5年度で終了することに伴い、新たな教育振興の取組の指針となる「岩手県教育振興計画（2024～2028）」を策定するものです。

2 計画の位置付け

この計画は、計画期間を令和6年度から令和10年度までの5年間とし、今後5年間の教育施策の方向性や具体的な取組方策などを定め、本県の教育振興の取組の指針となるものです。

また、教育基本法第17条第2項に基づき、令和5年6月に策定された国の新たな教育振興基本計画を参酌して策定する本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として位置付けるものです。

3 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

4 計画の構成

第1章 岩手の教育をめぐる状況

第2章 目標・取組の視点

第3章 具体的な施策の内容

まず、第1章では、岩手の教育の歩み、前「岩手県教育振興計画」における成果と課題、社会状況の変化と今後の展望について、概括的に記載しています。

第2章は、計画の基本目標を定め、その目標を実現していくうえで、県民、教育関係者等が一体となって取り組んでいく岩手の教育振興の考え方及びその取組の視点等を示しています。

第3章は、今後5年間に実施する12の具体的な施策の内容を、「学校教育」と「社会教育・家庭教育」の2つの政策分野を柱として、それぞれ「現状と課題」、「目指す姿」、「目指す姿を実現するための取組の方向性」、「取組にあたっての役割分担」、「具体的な推進方策」を示しています。

※岩手県教育振興計画（2024～2028）

https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/072/907/keikaku.pdf



岩手県教育振興計画(2024~2028)について

- 【計画の位置付け】
- ・本県の教育振興基本計画
(教育基本法第17条第2項)
- ・本県の教育振興の取組の指針

第1章 岩手の教育をめぐる状況

1 岩手の教育の歩み

- ・学制150周年
- ・新たな学習指導要領の実施
- ・教育振興運動、いわて教育の日の取組
- ・諸調査の活用による組織的な授業力の向上
- ・県立博物館、美術館、図書館における学び
- ・文化、スポーツ分野での多くの子どもたちや本県出身者の活躍
- ・新たな世界遺産、ユネスコ無形文化遺産の登録

2 前計画期間中の成果と課題

- 【成果】
- ・学校のICT環境、冷房設備等の整備完了
 - ・児童生徒の体力・運動能力⇒高い水準
 - ・地域等と連携・協働による教育活動の充実
 - ・全市町村でコミュニティ・スクールの導入
 - ・SNSを活用した情報提供の充実
- 【課題】
- ・岩手の産業等を担う人材の育成等
 - ・ICTのより効果的な活用
 - ・多様な体験活動等の一層の充実
 - ・運動に親しむ機会の確保等
 - ・教育的ニーズに対応した指導・支援体制の充実
 - ・増加傾向にあるいじめや不登校児童生徒への対応

- ・社会情勢の変化に対応した教育環境の整備
- ・私立学校の教育の充実に向けた支援
- ・教育振興運動や地域学校協働活動の充実
- ・家庭教育を支える環境づくり
- ・多様な人材の育成や学習コンテンツの充実
- ・文化財の適切な保存・継承と活用

3 社会状況の変化と今後の展望

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
- ② 少子化・人口減少と高齢化の進行
- ③ 社会全体のデジタル化の進展
- ④ グローバル化の進展と持続可能な社会づくり
- ⑤ 東日本大震災津波からの復旧・復興

いわて県民計画(2019~2028) 基本目標
「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」

新たな教育振興基本計画 コンセプト
・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

10の政策分野の取組方向

- (1)健康・余暇
～健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手～
- (2)家族・子育て
～家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手～
- (3)教育
～学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手～
- (7)歴史・文化
～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手～

子どもたちの意見
夢や目標をかなえたい! 地域のこともっと知って何ができるか考えたい!

第2章 目標・取組の視点

基本目標
～ 自分らしい生き方を拓き 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり

学校教育における目指す姿

岩手の子どもたちが、自分らしくいきいきと学び、夢を育み、希望あるいわてを創造する「生きる力」を身に付けている

社会教育・家庭教育における目指す姿

主体的・協働的な学びを通して、地域や家庭におけるつながりや支え合いが育まれ、県民一人ひとりが、自分らしくいきいきと学び、暮らしている

取組の視点

- ① 一人ひとりの可能性を伸ばす学びの確保
- ② 郷土に誇りと愛着を持ち、岩手で世界で活躍する人材の育成
- ③ 岩手らしさを生かした生涯にわたる学びの充実
- ④ 教育分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤ 東日本大震災津波の経験や教訓を踏まえた学びの推進

今後の教育政策に関する基本的な方針

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

第3章

具体的な施策の内容

【学校教育】

- 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成
- 2 確かな学力の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 健やかな体の育成
- 5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
- 6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
- 7 学びの基盤づくり
- 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

【社会教育・家庭教育】

- 9 学校と家庭・地域との協働の推進
- 10 子育て支援や家庭教育支援の充実
- 11 生涯にわたる学び続ける環境づくり
- 12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承

◎岩手県教育振興計画(2024～2028)の具体的な施策の内容

【学校教育】

- 1 岩手で、世界で活躍する人材の育成
 - ① いわての復興教育」などの推進
 - ② キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
 - ③ 岩手と世界をつなぐ人材の育成
 - ④ イノベーションを創出する人材の育成
- 2 確かな学力の育成
 - ① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
 - ② 児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
 - ③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進
- 3 豊かな心の育成
 - ① 自他の生命を大切に、人権を尊重する心の育成
 - ② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成
 - ③ 学校における文化芸術教育の推進
 - ④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成
- 4 健やかな体の育成
 - ① 児童生徒の健康の保持・増進に向けた対策の充実
 - ② 適切な部活動体制の推進
- 5 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進
 - ① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実
 - ② 各校種における指導・支援の充実
 - ③ 教育環境の充実・県民理解の促進
- 6 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
 - ① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処
 - ② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進
 - ③ デジタル社会における児童生徒の健全育成に向けた対策の推進
- 7 学びの基盤づくり
 - ① 安全・安心でより良い教育環境の整備
 - ② 生まれ育った環境に左右されない教育機会の確保
 - ③ 目標達成型の学校経営の推進
 - ④ 魅力ある学校づくりの推進
 - ⑤ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の確保
 - ⑥ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上
 - ⑦ 「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づく教職員の働き方改革
- 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進
 - ① 各私立学校の建学の精神などに基づく特色ある教育活動の支援
 - ② 私立学校の耐震化の支援や教育環境の整備促進

【社会教育・家庭教育】

- 9 学校と家庭・地域との協働の推進
 - ① 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり
 - ② 豊かな体験活動の充実
- 10 子育て支援や家庭教育支援の充実
 - ① 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供
 - ② 子育てや家庭教育を支える環境づくりの推進
- 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり
 - ① 多様な学習機会の充実
 - ② 岩手ならではの学習機会の提供
 - ③ 学びと活動の循環による地域の活性化
 - ④ 社会教育の中核を担う人材の育成
 - ⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実
- 12 次世代につなげる民俗芸能や文化財の継承
 - ① 部活動や地域と連携した取組などを通じた民俗芸能の保存と継承
 - ② 伝統文化、文化財などを活用した交流の推進

岩手県教育振興計画(2024～2028)の策定の参考とするため、子どもからの意見聴取を実施しました。

【意見聴取の概要】

- 1 対象
 - 県内の学校に通う小学校5年生から高校3年生までに相当する個人またはグループ(特別支援学校、高等専門学校、専修学校を含む。)
- 2 方法
 - 個人で所有する端末又は学校で配布されている端末等を利用したオンライン調査(無記名/任意)
- 3 期間
 - 令和5年7月25日(火)～8月25日(金)
- 4 調査項目
 - ①校種
 - ②関心があるテーマと選択したテーマについての記述
- 5 回答数 3,965件